

平成 25 年度 守山市民生委員児童委員協議会 活動計画

1 基本方針

人間関係の希薄化が進むなか、さまざまな生活課題、福祉課題が顕在化、深刻化しています。経済的困窮が拡大する一方、孤立死など痛ましい事案が相次ぎ、またいじめや虐待の問題も依然として深刻な状況にあります。

このようなことから民生委員児童委員は、地域に根ざした住民に最も身近な存在として、住民に寄り添った見守りや相談支援を行い、災害時要援護者支援をふくめた地域福祉ネットワークづくりを推し進めます。

2 重点目標

(1) 地域に即した単位民児協の活動強化

- ア 「災害時一人も見逃さない運動」の継続的な実施
- イ 地域や関係機関等との連携強化

(2) 児童委員・主任児童委員の活動推進

- ア 児童虐待防止啓発活動や児童健全育成活動への参画
- イ 赤ちゃん訪問活動の推進

(3) 市民児協活動の拡充

- ア ひとり暮らし高齢者等要援護者の福祉ニーズの把握
- イ 民生委員児童委員に関わる福祉活動の充実

(4) 委員の資質向上

- ア 各種研修への積極的参加
- イ 単位民児協における研修強化と専門部会等の内容充実

3 事業

(1) 会議

- ア 総会（5月24日（金）9:30～ 生涯学習・教育支援センター（エルセンター）大会議室）
- イ 役員会（原則として毎月21日に開催）
- ウ 広報研修委員会（随時開催／広報「しあわせ」の編集・発行、全員研修・県外研修の立案）
- エ 役員・部会長合同会議（随時開催）
- オ 学区民児協定例会議（各学区にて毎月開催）

守山：第1木、吉身：3日、小津：5日、玉津：1日、河西：6日、速野：7日、中洲：2日

カ 役員等・行政懇談会（4月26日（金）15:00～ コミュニティ防災センター）

キ 主任児童委員会（原則として毎月25日9:30～）

(2) 研修

ア 全員研修Ⅰ

期日	平成25年5月24日(金) 総会終了後
研修内容	講演：“ふくしま”で起きたこと。そして、これからのこと。 講師：東日本大震災滋賀県避難者の会 世話人代表 遠藤 正一 氏

イ 県外研修 (1泊2日)

期日	平成25年6月20日(木)～平成25年6月21日(金)
研修先	社会福祉法人 陽風園 所在地：石川県金沢市

ウ 全員研修Ⅱ (未定)

(3) 広報

ア 広報紙「しあわせ」の発行・・・9月・3月に自治会を通じて全戸配布

(4) 部会活動

- ア 第1部会 (生活自立支援福祉部会)・・・原則として毎月12日9:30～
- イ 第2部会 (高齢者福祉部会)・・・原則として毎月14日9:30～
- ウ 第3部会 (障害児・者福祉部会)・・・原則として毎月16日9:30～
- エ 第4部会 (児童・家庭福祉部会)・・・原則として毎月18日9:30～

(5) その他、定例活動など

- ア 友愛訪問活動の実施
- イ 福祉票の作成・整備
- ウ 会報「ひろば」の発行(毎月)
- エ 民生委員・児童委員の日、民生委員・児童委員活動強化週間への取り組み
- オ 赤ちゃん訪問事業の実施(市受託事業)

4 月別事業予定(主なもの)

月	事業	毎月
4	市民児協・行政懇談会(26日)	役員会
5	民生委員・児童委員の日(12～18日) 市民児協総会・全員研修会(24日)	学区市民児協定例会議 主任児童委員会
6	県外研修(20～21日)	広報研修委員会
9	広報紙「しあわせ」発行	部会活動
10	赤い羽根共同募金運動に協力(10月～12月)	友愛訪問活動
11	オレンジリボンキャンペーン(街頭啓発・たすきリレー)	福祉票の作成
12	歳末たすけあい運動に協力	赤ちゃん訪問
3	広報紙「しあわせ」発行	

5 行政等との協働・協力活動

(1) 行政

- ア 要援護児童生徒の就学援助への協力（教育委員会）
- イ 朝のあいさつ運動（教育委員会）
- ウ 要保護世帯等の相談支援（健康福祉政策課）
- エ 赤ちゃん訪問事業（こども家庭相談課）
- オ 要支援と思われる高齢者世帯等の相談支援（地域包括支援センター）
- カ 緊急通報システム・家具転倒防止器具設置・家庭用火災警報器設置（高齢福祉課）
- キ 敬老祝賀事業（高齢福祉課）
- ク 声の広報（障害者自立支援課）
- 新 ケ 災害時要援護者避難支援プランへの協力（健康福祉政策課）

(2) 消防署

- ア ひとり暮らし高齢者世帯防火訪問

(3) 社会福祉協議会

- ア 学区社協との連携
- イ 生活福祉資金等の支援協力
- ウ 共同募金運動、歳末たすけあい運動
- エ ふとん丸洗いサービス
- オ 在宅介護者のつどい
- カ 在宅激励金の贈呈
- 新 キ 災害時要援護者への寄り添い見守る活動